

# コマツ茨城工場

## 環境活動



2023年7月に稼働開始した「海浜工場」

### 初めに

コマツは1921年に石川県小松市にて設立され、2021年に創立100周年を迎えました。「品質と信頼性」を追求し、社会を含むすべてのステークホルダーからの信頼度の総和を最大化することを、経営の基本としています。

地球規模での環境問題への対応が求められる中、コマツは気候変動に対応した環境負荷低減の取り組みや高品質・高能率な商品・サービス・ソリューション提供など、本業の成長戦略を通じたESG（環境・社会・ガバナンス）課題解決を実現してまいります。

茨城工場ではこの企業方針に基づき、環境に配慮した製品の開発や生産活動など自らの強みを活かしてステークホルダーの皆さまと共に持続可能な社会の構築に対する責任を果たしていきたいと考えています。

### コマツ茨城工場 環境方針

#### 基本理念

コマツ茨城工場は企業の社会的責任として「コマツ地球環境方針」に基づき、本業である建設・鉱山機械等の開発・生産を通じた活動および社会貢献活動により、地球環境の保全・カーボンニュートラル・持続可能な発展に貢献します。

#### 行動方針

コマツ茨城工場で働くすべての人は次の活動を行います

1. 【環境リスク管理】  
環境に関する法令・協定等の順守および環境汚染防止のためのあらゆる対策・対応
2. 【製品の環境貢献】  
地球環境に配慮した製品の研究・開発・提供
3. 【省エネルギー】  
事業活動で排出されるCO<sub>2</sub>の削減
4. 【資源の有効活用】  
循環型社会に適応した省資源・水の有効活用・廃棄物の削減
5. 【地域社会との共存】  
生物多様性保全などの地域社会に向けた活動
6. 【継続的な改善】  
継続的に環境の改善と保全を行う仕組み作りと人材育成

### 主要製品



リジッドダンプトラック



アーティキュレートダンプトラック



ホイールローダー

## 茨城工場の沿革

- 2007年 茨城工場設立。大型ダンプトラック、ホイールローダーの生産開始
- 2010年 開発センタ・試験センタが茨城工場に移転。開発・生産一体化を促進
- 2011年 東日本大震災発生。建物等被災
- 2020年 茨城県産木質チップを活用したバイオマスボイラーの稼働を開始
- 2022年 バイオマスガス発電稼働開始
- 2023年 新工場「海浜工場」竣工



JR勝田駅広告



バイオマスガス発電施設

## 環境マネジメントシステム

茨城工場は環境に関する国際的規格であるISO14001の認証を取得し、環境マネジメントシステムの構築と運用に努めています。

またコマツグループはISOの有効性を更に高めるため、規格で規定されている内部監査や外部認証機関の審査に加えコマツ各事業所から選出された監査員によるクロス監査を行っています。



外部機関のISO14001認証審査

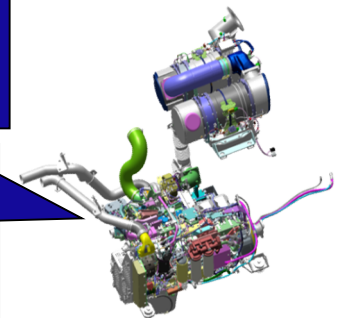
## 製品による環境負荷の低減

建設・鉱山機械のライフサイクルにおける環境負荷の低減は重要な環境活動のひとつです。各国の排気ガス規制に対応した低エミッション車の開発や製品の燃費向上を推進し、お客さまの環境経営構築にも貢献します。



NOx・PM低減技術による世界各国の排ガス規制への対応や燃費性能の改善などにより、製品の環境性能の向上を推進しています

コマツディーゼルパーティキュレートフィルター（KDPF）、選択触媒還元（SCR）により、排気ガスに含まれるNOx（窒素酸化物）とPM（粒子状物質）の排出量の低減を図つ



## 工場立地を活かした環境負荷の低減

茨城工場は生産している製品の90%以上を輸出しています。茨城港（常陸那珂港区）に近接した立地により、工場から製品を出荷する時に発生する物流CO<sub>2</sub>の抑制に貢献しています。



上空から見た茨城工場



港湾道路自走中のダンプトラック

## 事業活動による気候変動対応

茨城工場は設立当初から生産性向上と省エネルギー活動を進めていますが、地球規模の気候変動へ対応すべく、再生可能エネルギーの活用など更なるCO<sub>2</sub>削減を推進しています。



太陽光パネル

【再生可能エネルギーの活用①】 工場敷地内の緑地上や建屋屋上を活用した太陽光発電



バイオマスボイラー建屋

【再生可能エネルギーの活用②】 県内産の木質チップを活用したバイオマスボイラーを運用中。冷暖房両方に対応



木質チップサイロ



発電システム



発電施設全景



木質チップ

【再生可能エネルギーの活用③】 県内産木質チップをガス化し発電燃料とするバイオマスガス発電

## 資源の有効活用への取り組み

茨城工場は、工場周辺の湧水の導入による水資源の有効利用や事業活動で発生する廃棄物の再資源化によるゼロエミッションに取り組んでいます。



貯水槽

湧水の散水・洗浄水利用による水道使用量を削減



プラキャップや溶接ワイヤーリール、プラパレットなどのプラスチック不要品の有価物化



リサイクル軍手利用

## 環境リスクの管理

事業活動や災害時の環境リスク低減のため、水質や騒音等のリスク要因の監視と設備管理・改善を行っています。

また従業員へは環境の基本や法令等の教育、緊急事態発生を想定した訓練を通じ環境意識と危機対応能力向上を図っています。



排水水質測定



新入社員環境教育

## 地域社会活動への貢献・生物多様性

地域社会の一員として学校・団体の見学受け入れ、工場周辺地域の自然環境保全活動への参加などの地域コミュニケーションを積極的に行っています。

生物多様性活動の一環として、当社工場敷地の緑化・美化を行っています。2023年に竣工した海浜工場は敷地に新しく約5千㎡の緑地を設置。更に工場に隣接する国営ひたち海浜公園での植物保全活動や茨城県道路里親による周辺道路美化などの地域の緑化・美化に継続的に参加・協力しています。

なお、こうした社会活動や省エネルギー活動などにより平成28年度には「茨城県地球にやさしい企業表彰」を受賞しております。

### 【国営ひたち海浜公園での生態系保全活動】

公園スタッフおよびボランティアの皆さまと共に園内各所の外来種除去や松林の間伐を実施。



### 【工場での生物多様性活動】



茨城県道路里親による管理地域の美化活動



工場内の生きもの



食堂・地産地消 (美明豚)



海浜工場敷地の緑化

### 【地域社会への参加】



工場フェア開催



産業交流フェア出展



勝田マラソン運営サポート

### 【この環境報告に関するご意見・お問い合わせ先】

コマツ 茨城工場 総務部 安全・環境課  
〒312-0004  
茨城県ひたちなか市長砂163-46  
TEL. 029-265-2370

### 【コマツグループの環境・CSRについて】

サステナビリティ <https://www.komatsu.jp/ja/aboutus/csr>  
ブランドコミュニケーション  
<https://www.komatsu.jp/ja/aboutus/brandcommunication>